【専門科目】人文社会学部人間社会学科　カリキュラム・マップ／カリキュラム・ツリー

教室	基礎（方法論は必修）	専門	卒業研究（卒業論文は必修）
社会学教室	社会学基礎演習、人間社会学科の研究方法 都市社会学Ⅰ、社会調査法Ⅰ 社会学原論Ⅰ・Ⅱ、ほか	社会学演習、都市社会学演習、社会調査法演習 都市社会学Ⅱ、社会調査法Ⅱ 社会学特殊講義	卒業論文 社会学特論演習
社会人類学教室	社会人類学基礎演習、人間社会学科の研究方法 社会人類学A・B、民俗学特殊講義 地域研究特殊講義、民族史特殊講義	文化人類学演習Ⅰ・Ⅱ、社会人類学演習Ⅰ・Ⅱ フィールド文化論演習、地域研究演習 民族誌研究演習	卒業論文 社会人類学特論演習
社会福祉学教室	社会福祉学基礎演習Ⅰ・Ⅱ 社会福祉援助技術論Ⅰ・Ⅱ 人間社会学科の研究方法	社会福祉学原論Ⅰ・Ⅱ 相談援助実習	卒業論文 社会福祉学卒論演習Ⅰ・Ⅱ
心理学教室	心理学基礎演習Ⅰ・Ⅱ、心理学実験 心理学基礎統計法、心理学統計法 人間社会学科の研究方法	心理学特別研究 心理講義中心科目 心理学演習科目、公認心理師演習科目	卒業論文 心理学特論演習
教育学教室	教育学入門、教育原理Ⅰ・Ⅱ、教育心理学 教育社会学、教育行政学Ⅰ・Ⅱ、人間社会学科の研究方法 教育学特殊講義Ⅰ、社会教育学特殊講義Ⅰ、生涯学習概論Ⅰ・Ⅱ	教育社会学演習、臨床教育学演習 教育行政学演習、臨床発達学演習、学校文化研究 社会教育学演習、多文化教育学演習	卒業論文 教育研究法
言語科学教室	音韻論基礎、統語論基礎、言語脳科学 認知神経科学、言語科学概論、形態論 心理言語学、言語情報処理の統計学、人間社会学科の研究方法	生成言語理論、意味論・語用論 発達科学、精神神経科学、脳計測科学	言語科学卒業論文 言語科学特殊講義
日本語教育学教室	日本語学概論、人間社会学科の研究方法 日本言語学概論、日本語習得論概論 日本語教育学概論、日本社会言語学概論	日本言語学講義、日本語習得論講義 日本語教育学講義、日本社会言語学講義 比較言語文化論、学外演習	卒業論文 卒業論文指導

専門分野に必要となる基礎的な科目　　専門分野に対応した発展的な科目　　卒業論文研究のための科目

学生が習得すべき能力	人間社会学に関する各分野固有の知識を修得し、それらを問題解決に活用できる能力	現代社会に対する批判的思考力、及び異なる文化・社会に対する理解力	論理的に試行し、倫理観・社会的責任を自覚しながらコミュニケーションすることのできる能力

人文社会学部　人間社会学科　社会学教室

提供分野	a.科目群 （専門教育科目群）	b授集科目名	c.ナンバリング コード	獲得すべき学修成果（各授業で育成し達成状況を評価する学修成果 d.+ e.）							
				d.知識・理解及び技術	e普遍的に有用性を持つ能力						
					コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、 社会的責任の自覚	異なる文化・ 社会への理解
				a)社会学の基礎概念と諸理論を踏まえ、b)現代社会や都市の抱える諸問題を、c)サブカルチャー論、d)ジェンダー論、e)コミュニティ論、f)エスニシティ論、g)社会階層論など多様な視点から考察する能力を獲得する。	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えることができる。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。
01社会	専門教育科目	都市社会学I	JSA-201-1	b							
01社会	専門教育科目	都市社会学 II	JSA-202-1	b							
01社会	専門教育科目	社会調査法 I	JSA-203-1	f,g							
01社会	専門教育科目	社会調査法 II	JSA-204-1	f,g							
01社会	専門教育科目	社会学原論 I	JSA-205-1	a							
01社会	専門教育科目	社会学原論 II	JSA-206-1	a							
01社会	専門教育科目	社会学基礎演習	JSA-207-1	a,b,c,d,e,f,g							
01社会	専門教育科目	社会学演習	JSA-208-1	a,b,c,d,e,f,g							
01社会	専門教育科目	社会調査法演習	JSA-209-1	f,g							
01社会	専門教育科目	都市社会学演習	JSA-210-1	b							
01社会	専門教育科目	社会学特殊講義	JSA-211-1	a,b,c,d,e,f,g							
01社会	専門教育科目	社会調査法特殊講義	JSA-212-1	f,g							
01社会	専門教育科目	都市社会学特殊講義	JSA-213-1	b							
01社会	専門教育科目	社会学特論演習	JSA-414-1	a,b,c,d,e,f,g							
01社会	専門教育科目	社会学卒業論文	JSA-415-1	a,b,c,d,e,f,g							

人文社会学部　人間社会学科　社会人類学教室

提供分野	a.科目群 （専門教育科目群）	b授集科目名	c.ナンバリング コード	獲得すべき学修成果（各授業で育成し達成状況を評価する学修成果 d.+ e.）							
				d.知識・理解及び技術	e普遍的に有用性を持つ能力						
					コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、 社会的責任の自覚	異なる文化・ 社会への理解
				社会人類学の理論と方法論を踏まえ、世界各地の諸社会の環境・政治・経済・文化の特色を理解したうえで、グローバル化時代における生活様式や価値観の多様性や創造性を追求する能力を獲得する。過去・現在・未来にわたる社会の成り立ちと人間の思考を世界的な比較の視野からとらえ、人類のあり方を総合的に考察する能力を獲得する。	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えることができる。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。
02社人	専門教育科目	社会人類学基礎演習	JSB-201-1	社会人類学についての基礎的な知見を幅広く修得するとともに、自分なりの見解をわかりやすく伝える能力を身につける。	○			○			○
02社人	専門教育科目	社会人類学Ａ	JSB-202-1	文化人類学・社会人類学を通じて身の回りで起きている物事を理解し、説明する力を身に着ける。	○		○				○
02社人	専門教育科目	社会人類学Ｂ	JSB-203-1	人類学の歴史的背景を鑑みて学説史を理解する。			○	○		○	
02社人	専門教育科目	民俗学特殊講義	JSB-204-1	民俗学の視点から日本社会や周辺の国々における日常生活を分析する。	○		○				○
02社人	専門教育科目	地域研究特殊講義	JSB-205-1	ある地域やテーマに即して社会人類学的知見を深める。			○	○			○
02社人	専門教育科目	民族誌特殊講義	JSB-206-1	社会人類学についての専門知識を基礎的事項から最新の知見まで幅広く修得するともに、自分の力で思考する能力を身につける。			○	○			○
02社人	専門教育科目	文化人類学特殊講義	JSB-207-1	現代社会の様々な課題を民族誌を通じて理解する。	○		○				○
02社人	専門教育科目	社会人類学特殊講義	JSB-208-1	各地の比較事例を用いて、真に人間的な法とは何かを考える法人類学について理解する。				○		○	○
02社人	専門教育科目	文化人類学演習Ⅰ	JSB-309-1	人類学・地域研究に関する専門書を読み要点を捉える力をつけるとともに、それに基づいて他者と意見交換しディスカッションする方法を学ぶ。				○	○		○
02社人	専門教育科目	文化人類学演習Ⅱ	JSB-310-1	米国で編纂された文化人類学の入門書を通じて身近な出来事（特殊）から人間の本質（普遍）を考察する。			○		○		○
02社人	専門教育科目	社会人類学演習Ⅰ	JSB-311-1	民族誌の読解を通じて、専門分野の文献について書評が書けるようになることを目指す。			○		○		○
02社人	専門教育科目	社会人類学演習Ⅱ	JSB-312-1	調査倫理を理解した上で、自ら問題を発見し、情報収集を行い、作品にまとめる実践的な力を身につける。		○	○		○		
02社人	専門教育科目	フィールド文化論演習	JSB-313-1	民俗学・社会人類学について、基礎的な知識と視座を身につけたうえで、先端的な研究に対する理解を深める。			○	○			○
02社人	専門教育科目	地域研究演習	JSB-314-1	身の回りで現在起きていることを人類学的な視点から分析する力を身につける。	○		○				○
02社人	専門教育科目	民族誌研究演習	JSB-315-1	正確に文章を読む力をつけるとともに、社会人類学の基礎的な研究姿勢と専門的な研究アプローチを修得する。	○			○			○
02社人	専門教育科目	社会人類学特論演習	JSB-416-1				○	○	○		
02社人	専門教育科目	社会人類学卒業論文	JSB-417-1	社会人類学的視点に立って調査研究を進め、情報を分析し、学術論文を執筆する能力を身につける。			○	○	○		
02社人	専門教育科目 （学部共通科目）	民俗学実習	JCX-213-1	民俗学の基礎的な知識を身につけ、身の回りの現象を理解することに応用する力を身に付ける。	○				○		○

人文社会学部　人間社会学科　社会福祉学教室

提供分野	a.科目群 （専門教育科目群）	b授業科目名	c.ナンバリングコード	獲得すべき学修成果（各授業で育成し達成状況を評価する学修成果 d.+ e.）												
				d.知識・理解及び技術						e普遍的に有用性を持つ能力						
										コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、社会的責任の自覚	異なる文化・社会への理解
				a 社会福祉学の専門的知識を身につける。	b 社会福祉問題を生活に密着して把握できる。	c 社会福祉問題を能動的に学習する姿勢を培う。	d 社会保障・社会福祉の政策理念・方法・制度・歴史等を通して論理的思考力をつける。	e 生活問題・ニーズを抱える人びとを支援する仕組みを実習等を通して学ぶ。	f コミュニケーション能力や情報活用能力を獲得する。	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えることができる。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。
03社福	専門教育科目	ソーシャルワーク論Ⅰ	JSC-239-1	○	○	○						○		○	○	
03社福	専門教育科目	ソーシャルワーク論Ⅱ	JSC-240-1	○		○			○			○			○	○
03社福	専門教育科目	社会福祉学原論	JSC-341-1	○			○	○				○	○		○	
03社福	専門教育科目	社会福祉政策論	JSC-342-1		○		○	○				○	○		○	
03社福	専門教育科目	社会保障論	JSC-244-1	○		○	○				○	○	○			
03社福	専門教育科目	児童家庭福祉論	JSC-245-1	○		○	○					○			○	○
03社福	専門教育科目	高齢者福祉論	JSC-246-1	○	○		○					○			○	
03社福	専門教育科目	障害福祉論	JSC-247-1		○	○	○					○			○	○
03社福	専門教育科目	公的扶助論	JSC-248-1	○		○	○					○			○	○
03社福	専門教育科目	地域福祉論	JSC-315-1	○		○	○					○	○	○		
03社福	専門教育科目	ソーシャルワークの理論と方法I	JSC-349-1	○				○	○	○		○			○	
03社福	専門教育科目	ソーシャルワークの理論と方法II	JSC-350-1	○		○		○		○		○			○	
03社福	専門教育科目	社会福祉法制Ⅰ	JSC-218-1	○	○		○					○	○		○	
03社福	専門教育科目	社会福祉法制Ⅱ	JSC-219-1		○	○	○					○	○		○	
03社福	専門教育科目	社会福祉学基礎演習	JSC-251-1			○	○		○	○	○	○				
03社福	専門教育科目	社会福祉学専門演習	JSC-352-1			○	○		○			○	○	○		
03社福	専門教育科目	ソーシャルワーク演習Ⅰ	JSC-253-1			○		○	○	○		○		○		
03社福	専門教育科目	ソーシャルワーク演習Ⅱ	JSC-254-1			○		○	○	○		○		○		
03社福	専門教育科目	ソーシャルワーク演習Ⅲ	JSC-355-1			○		○	○	○					○	○
03社福	専門教育科目	ソーシャルワーク演習Ⅳ	JSC-356-1			○		○	○	○					○	○
03社福	専門教育科目	ソーシャルワーク演習Ⅴ	JSC-357-1			○		○	○	○					○	○
03社福	専門教育科目	ソーシャルワーク実習Ⅰ	JSC-358-1			○		○	○	○					○	○
03社福	専門教育科目	ソーシャルワーク実習Ⅱ	JSC-359-1			○		○	○	○					○	○
03社福	専門教育科目	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	JSC-360-1			○		○	○	○					○	○
03社福	専門教育科目	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	JSC-361-1			○		○	○	○					○	○
03社福	専門教育科目	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	JSC-362-1			○		○	○	○					○	○
03社福	専門教育科目	社会福祉学卒論演習	JSC-463-1													
03社福	専門教育科目	社会福祉学特論演習	JSC-335-1			○	○		○			○	○	○		
03社福	専門教育科目	社会福祉運営管理論	JSC-264-1	○		○	○				○	○			○	
03社福	専門教育科目	医学概論	JSC-265-1		○	○	○					○			○	○
03社福	専門教育科目	社会福祉調査論	JSC-243-1		○	○			○			○		○	○	
03社福	専門教育科目	社会福祉学卒業論文	JSC-438-1													

※「社会福祉学卒論演習」「社会福祉学卒業論文」については、各学生のテーマに応じて「ｄ知識・理解及び技術」「ｅ普遍的に有用性を持つ能力」の一部または全ての項目が獲得すべき学修成果となる。

人文社会学部　人間社会学科　心理学教室

提供分野	a.科目群（専門教育科目群）	b授集科目名	c.ナンバリングコード	獲得すべき学修成果（各授業で育成し達成状況を評価する学修成果 d.+ e.）							
				d.知識・理解及び技術	e普遍的に有用性を持つ能力						
					コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、社会的責任の自覚	異なる文化・社会への理解
				下記のような知識・理解及び技術を修得することが出来ます。 a）心理学の理論と研究の方法論 b）人の心理（意識・行動）を分析的、統合的に考える力 c）人の心理社会的な面に関わる諸問題の理解と解決に役立つ能力の習得 d）人の社会的不適応状態や精神障害に関する臨床的な知識と技能 e）心理社会的な悩みを抱える人への支援のあり方	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えることができる。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。
04心理	専門教育科目	心理学基礎演習 I	JSD-201-1	a), b), c)		○		○			○
04心理	専門教育科目	心理学基礎演習 II	JSD-202-1	a), b), c)		○		○			○
04心理	専門教育科目	心理学基礎統計法	JSD-203-1	a), b)		○		○			
04心理	専門教育科目	心理学統計法	JSD-204-1	a), b)		○	○	○			
04心理	専門教育科目	心理学実験	JSD-205-1	a), b), c)		○		○	○		
04心理	専門教育科目	心理学特別研究	JSD-306-1	a), b), c), d)			○	○			
04心理	専門教育科目	心理学特論演習	JSD-407-1	a), b), c), d)	○			○	○		
04心理	専門教育科目	知覚・認知心理学	JSD-208-1	a), b), c)			○	○	○		
04心理	専門教育科目	学習・言語心理学	JSD-209-1	a), b), c)			○	○	○		
04心理	専門教育科目	感情・人格心理学	JSD-210-1	a), b), c)			○	○	○		
04心理	専門教育科目	神経・生理心理学	JSD-211-1	a), b), c)			○	○	○		
04心理	専門教育科目	社会・集団・家族心理学	JSD-212-1	b), c)			○	○			○
04心理	専門教育科目	発達心理学	JSD-213-1	b), c), d)			○	○			○
04心理	専門教育科目	障害者・障害児心理学	JSD-214-1	c), d), e)			○		○		○
04心理	専門教育科目	心理的アセスメント	JSD-215-1	a), b), d)			○			○	○
04心理	専門教育科目	心理学的支援法	JSD-216-1		○		○			○	
04心理	専門教育科目	健康・医療心理学	JSD-217-1	b), c), d), e)	○		○				○
04心理	専門教育科目	福祉心理学	JSD-218-1	b), d), e)	○		○				○
04心理	専門教育科目	教育・学校心理学	JSD-219-1	a), b), d)			○			○	○
04心理	専門教育科目	司法・犯罪心理学	JSD-220-1	a), b), d)		○	○				○
04心理	専門教育科目	産業・組織心理学	JSD-221-1	a), b), c)			○	○	○		
04心理	専門教育科目	人体の構造と機能及び疾病	JSD-222-1	c), d), e)					○	○	○
04心理	専門教育科目	精神疾患とその治療	JSD-223-1	a), b), d)			○			○	○
04心理	専門教育科目	関係行政論	JSD-224-1	a), c), e)			○			○	○
04心理	専門教育科目	公認心理師の職責	JSD-325-1	c), d), e)			○			○	○
04心理	専門教育科目	心理学特殊講義	JSD-226-1	c), d), e)	○		○			○	
04心理	専門教育科目	計量心理学演習	JSD-327-1	a), b)		○	○	○			
04心理	専門教育科目	実験心理学演習	JSD-328-1	a), b), c)		○	○	○			

人文社会学部　人間社会学科　心理学教室

提供分野	a.科目群（専門教育科目群）	b授業科目名	c.ナンバリングコード	獲得すべき学修成果（各授業で育成し達成状況を評価する学修成果 d.+ e.）							
				d.知識・理解及び技術	e普遍的に有用性を持つ能力						
					コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、社会的責任の自覚	異なる文化・社会への理解
				下記のような知識・理解及び技術を修得することが出来ます。 a）心理学の理論と研究の方法論 b）人の心理（意識・行動）を分析的、統合的に考える力 c）人の心理社会的な面に関わる諸問題の理解と解決に役立つ能力の習得 d）人の社会的不適応状態や精神障害に関する臨床的な知識と技能 e）心理社会的な悩みを抱える人への支援のあり方	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えることができる。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。
04心理	専門教育科目	認知心理学演習	JSD-329-1	a), b), c)	○		○	○			
04心理	専門教育科目	社会心理学演習	JSD-330-1	b), c)		○	○	○			
04心理	専門教育科目	発達心理学演習	JSD-331-1	b), c), d)	○	○	○				
04心理	専門教育科目	臨床心理学演習	JSD-332-1	a), d). e)	○		○			○	
04心理	専門教育科目	医療心理学演習	JSD-333-1	a), b), d), e)	○		○	○			
04心理	専門教育科目	心理学演習	JSD-334-1	b), c), d)	○	○	○				
04心理	専門教育科目	心理演習	JSD-335-1	c), d), e)	○				○	○	
04心理	専門教育科目	心理実習	JSD-336-1	a), d). e)	○		○			○	
04心理	専門教育科目	心理実習（指導）	JSD-337-1	a), d). e)	○		○			○	
04心理	専門教育科目	心理学卒業論文	JSD-438-1	a), b), c), d), e)	○	○		○			

人文社会学部　人間社会学科　教育学教室

提供分野	a.科目群 （専門教育科目群）	b授集科目名	c.ナンバリングコード	獲得すべき学修成果（各授業で育成し達成状況を評価する学修成果 d.+ e.）							
				d.知識・理解及び技術	e普遍的に有用性を持つ能力						
					コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、 社会的責任の自覚	異なる文化・ 社会への理解
幅広い講義・演習等での集団的な学びを通して、教育学における教育行政、教育社会学、学校教育、青年期の学校と社会、教育哲学、社会的養護、矯正教育、保育・幼児教育、多文化教育、社会教育、障害者教育の理論と方法を獲得する。現代の教育課題に幅広く関心を持ち、その実態を的確に把握し、その解決に向けて実践的かつ理論的に取組むことの出来る思考力や課題解決力を獲得する。				a）集団的な学びを通して、教育問題に関する幅広い関心を持ち、教育学に関する基礎知識を獲得する。 b）上記a）をふまえて、教育学に関する基礎的な概念と理論を獲得する。 c）上記a）をふまえて、教育学を構成する各領域固有の方法論を獲得する（教育行政、教育社会学、学校教育、青年期の学校と社会、教育哲学、社会的養護、矯正教育、保育・幼児教育、多文化教育、社会教育、障害者教育）。 d）上記a)・b）・c）をもとに、現代の教育課題を実証的に把握する思考力を獲得する。 e）上記c）に対する課題解決力を獲得する。	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えることができる。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。
05教育	専門教育科目	教育原理	JSE-101-1	教育学の基本的な知識と概念を習得し、教職の視点から教育の現代的課題を理解する。a),b)				○		○	○
05教育	専門教育科目	教育の制度と社会	JSE-102-1	教育の制度と社会について、基礎的な知識・理論を習得し、教職の視点から教育行政をめぐる課題を理解する。a),b)		○		○	○		
05教育	専門教育科目	教育心理学	JSE-103-1	)教育心理学の基本的な概念を学習し、教職の視点から、発達段階をおさえた教授学習および学級集団づくりに関する実践課題を理解する。b),c)			○	○			○
05教育	専門教育科目	青年心理学	JSE-104-1	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程に関する基礎的な知識・理論を習得し、教職の視点から青年の心理や行動を理解する。b),c)			○			○	○
05教育	専門教育科目	教育方法論	JSE-105-1	教育の方法及び技術についての基礎的な概念、考え方に基づき、単元指導計画を作成する方法を理解する。b),c)		○		○		○	
05教育	専門教育科目	教育の方法と技術	JSE-106-1	教育方法および教育の技術に関する基礎的な知識・理解を習得し、基本的な方法および技術の活用する。b),c)		○				○	○
05教育	専門教育科目	教育課程論	JSE-107-1	教育課程に関する基礎的な知識・理論を習得し、教職の視点から教育課程をめぐる課題・教育課程編成の方法・技術を理解する。b),d)			○	○	○		
05教育	専門教育科目	道徳教育の理論と方法	JSE-108-1	道徳教育に関する基礎的な知識・理論を習得し、教職の視点から道徳 性の発達を支える指導法を理解する。b),d)			○		○	○	
05教育	専門教育科目	進路指導・生徒指導	JSE-109-1	進路指導・生徒指導に関する基礎的な知識・理論を習得し、進路指導・生徒指導の実践的な課題と方法を理解する。b),d)			○			○	○
05教育	専門教育科目	特別活動論	JSE-110-1	特別活動に関する基礎的な知識・理論を習得し、特別活動の実践的な課題と指導の方法を理解する。b),d)			○			○	○
05教育	専門教育科目	教育相談	JSE-111-1	教職の視点から、教育相談の意義と課題および相談援助に必要とされる学校心理学的な基礎理論と技法を理解する。b),d)	○				○	○	
05教育	専門教育科目	特別支援教育論	JSE-112-1	特別支援教育に関する基礎的な知識・理論を習得し、教職の視点から障害のある子ども・青年の発達・教育課題を理解する。c),d)			○		○	○	
05教育	専門教育科目	総合的な学習の時間の指導法	JSE-113-1	総合的な学習、探究学習についての理論を習得し、実践から学び、方法を獲得する。b),d)		○	○		○		
05教育	専門教育科目	教育学入門	JSE-214-1	教育学を構成する基礎的な概念を理解し、議論・討論の作法、教育活動の観察方法、教育学的な分析・考察方法の基礎を習得する。b),e)	○		○		○		
05教育	専門教育科目	教育史	JSE-315-1	教育史に関する基礎理論を習得し、教育問題を歴史的に認識・考察する視点を形成する。b),c)			○	○			○
05教育	専門教育科目	教育哲学	JSE-316-1				○	○	○		
05教育	専門教育科目	教育哲学演習	JSE-317-1	現代の青少年問題の諸相について集団討議を通じて理解し、問題解決に向けた思考力を形成する。c),e)	○			○	○		
05教育	専門教育科目	教育社会学	JSE-218-1	教育社会学の基礎的な概念と理論を理解し、教育と社会に関する諸問題を考察する力を習得する。b),c)			○	○			○
05教育	専門教育科目	学校文化研究	JSE-220-1	子ども・青年の状況と教育現場の実情に即した教育学研究のあり方を知り、そのために必要となる技法を獲得する。c),e)	○			○	○		
05教育	専門教育科目	臨床教育学演習	JSE-221-1	障害のある子ども・青年の教育課題を実践的に考察し、障害児・者問題の社会的認識を形成する。c),e)	○				○		○

人文社会学部　人間社会学科　教育学教室

提供分野	a.科目群 （専門教育科目群）	b授集科目名	c.ナンバリングコード	獲得すべき学修成果（各授業で育成し達成状況を評価する学修成果 d.+ e.）							
				d.知識・理解及び技術	e普遍的に有用性を持つ能力						
					コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、社会的責任の自覚	異なる文化・社会への理解
幅広い講義・演習等での集団的な学びを通して、教育学における教育行政、教育社会学、学校教育、青年期の学校と社会、教育哲学、社会的養護、矯正教育、保育・幼児教育、多文化教育、社会教育、障害者教育の理論と方法を獲得する。現代の教育課題に幅広く関心を持ち、その実態を的確に把握し、その解決に向けて実践的かつ理論的に取組むことの出来る思考力や課題解決力を獲得する。				a）集団的な学びを通して、教育問題に関する幅広い関心を持ち、教育学に関する基礎知識を獲得する。 b）上記a）をふまえて、教育学に関する基礎的な概念と理論を獲得する。 c）上記a）をふまえて、教育学を構成する各領域固有の方法論を獲得する（教育行政、教育社会学、学校教育、青年期の学校と社会、教育哲学、社会的養護、矯正教育、保育・幼児教育、多文化教育、社会教育、障害者教育）。 d）上記a)・b）・c）をもとに、現代の教育課題を実証的に把握する思考力を獲得する。 e）上記c）に対する課題解決力を獲得する。	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えることができる。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。
05教育	専門教育科目	教育行政学Ⅰ	JSE-222-1	教育行政学の基礎的な知識・理論を修得し、教育行政をめぐる課題を理解する。b),c)		○		○	○		
05教育	専門教育科目	教育行政学Ⅱ	JSE-223-1	教育行政学の基礎をふまえた上で、教育行政をめぐる諸課題に関して、自ら課題を立てて分析できる力を修得する。c),e)		○	○		○		
05教育	専門教育科目	教育行政学演習	JSE-224-1	教育行財政に関する法規定とその運用動態について集団で議論し、研究テーマを見つけ出し追求していける力を修得する。c),e)	○		○		○		
05教育	専門教育科目	障害者教育学	JSE-225-1	特別支援学級等の教育実践を中心に、障害児・者に関わる時事問題も扱いながら、障害等による困難をもつ子どもの課題を理解する。c),e)			○			○	○
05教育	専門教育科目	臨床発達学演習	JSE-226-1	保育・子育てを中心に、乳幼児の発達およびその支援の方法、課題について理解する。c),e)		○		○		○	
05教育	専門教育科目	生涯学習概論Ⅰ	JSE-127-1	社会教育・生涯学習に関する基礎的知識および理論を習得し、生涯学習実践をめぐる現代的課題について理解を深める。b),c)	○		○	○			
05教育	専門教育科目	生涯学習概論Ⅱ	JSE-128-1	生涯学習に関する基礎的知識及び理論を習得し、現在の生涯学習の課題について理解する。c),e)	○		○	○			
05教育	専門教育科目	生涯学習支援論Ⅰ	JSE-129-1	社会教育専門職員に求められる学習支援の知識・スキルを習得し、生活課題・地域課題を把握する方法、学習を組織する技能の習得する。b),c)		○	○				○
05教育	専門教育科目	生涯学習支援論Ⅱ	JSE-130-1	具体的な学習支援のあり方を海外の方法とも比較しながら分析し、学習支援の方法の具体的スキルを習得する。c),e)				○	○		○
05教育	専門教育科目	社会教育経営論Ⅰ	JSE-231-1	社会教育の行政体制や社会教育施設・実践に関する知識を習得し、地域の学習課題を具体化していく力を修得する。b),c)	○		○		○		
05教育	専門教育科目	社会教育経営論Ⅱ	JSE-232-1	社会教育における学級・講座が企画でき、地域の多様な主体とも連携・協力していく資質を修得する。c),e)		○		○		○	
05教育	専門教育科目	社会教育学特殊講義I	JSE-233-1	日本の先住民族であるアイヌ民族の歴史的事象をもとに、民族文化やその意義及び先住民族にとっての教育の意味を理解し、多文化共生社会の課題を把握する。c),e)					○	○	○
05教育	専門教育科目	市民社会と社会教育	JSE-234-1	自分の暮らしの中にあるさまざまなリソースを知り、活用しながら、学びをつくり出す主体となる。a),e)	○				○		○
05教育	専門教育科目	青少年問題と社会教育	JSE-235-1	家庭・学校以外の子育て・子育ちのエージェントの多様性を理解し、子どもの生活の豊かさを保障するとはどういうことか、について考察できる力を養う。a),e)			○		○		○
05教育	専門教育科目	環境問題と社会教育	JSE-236-1	環境問題の実態を把握し、現実の社会で環境問題と向き合っている現場の諸相から、問題解決に向けた思考力、課題解決力を形成する。a),e)	○		○		○		
05教育	専門教育科目	社会教育学演習	JSE-237-1	社会教育における現代的課題を批判的に考察し、自らの問題意識を論理的に思考する力を修得する。c),e)			○	○	○		
05教育	専門教育科目	社会教育実習	JSE-438-1	社会教育や生涯学習の果たす役割を実習を通じて学び、社会教育関連職員に求められる学習活動を組織する力量、政策立案能力などの技能を習得する。c),e)	○		○	○			
05教育	専門教育科目	多文化教育論	JSE-239-1	多文化教育の理論・実践について学び、多文化共生のために必要な学びとは何かを理解する。b),c)				○	○		○
05教育	専門教育科目	多文化教育学演習	JSE-240-2	多文化教育の理論・実践について学び、海外との比較研究を通じて多文化共生のために必要な学びとは何かを理解し、共生の技術を習得する。c),e)	○			○			○
05教育	専門教育科目	文化･芸術体験型演習	JSE-241-1	地域文化の創造と人間形成の関連について基礎的な理解を深めるとともに、ワークショップを通じて、体験を通じて学ぶことの技能を習得する。c),e)	○		○		○		
05教育	専門教育科目	教育学特殊講義Ⅰ	JSE-242-1	教育問題の実態を的確に把握し、その解決に向けて実践的かつ理論的に取組むことの出来る思考力や課題解決力を獲得する。c),e)			○	○			○

人文社会学部　人間社会学科　教育学教室

提供分野	a.科目群 （専門教育科目群）	b授集科目名	c.ナンバリングコード	獲得すべき学修成果（各授業で育成し達成状況を評価する学修成果 d.+ e.）							
				d.知識・理解及び技術	e普遍的に有用性を持つ能力						
					コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、 社会的責任の自覚	異なる文化・ 社会への理解
幅広い講義・演習等での集団的な学びを通して、教育学における教育行政、教育社会学、学校教育、青年期の学校と社会、教育哲学、社会的養護、矯正教育、保育・幼児教育、多文化教育、社会教育、障害者教育の理論と方法を獲得する。現代の教育課題に幅広く関心を持ち、その実態を的確に把握し、その解決に向けて実践的かつ理論的に取組むことの出来る思考力や課題解決力を獲得する。				a）集団的な学びを通して、教育問題に関する幅広い関心を持ち、教育学に関する基礎知識を獲得する。 b）上記a）をふまえて、教育学に関する基礎的な概念と理論を獲得する。 c）上記a）をふまえて、教育学を構成する各領域固有の方法論を獲得する（教育行政、教育社会学、学校教育、青年期の学校と社会、教育哲学、社会的養護、矯正教育、保育・幼児教育、多文化教育、社会教育、障害者教育）。 d）上記a)・b）・c）をもとに、現代の教育課題を実証的に把握する思考力を獲得する。 e）上記c）に対する課題解決力を獲得する。	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えることができる。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。
05教育	専門教育科目	教育学特殊講義Ⅱ	JSE-243-1	教育実践の先進的な取り組みから学び、その理論と方法を獲得する。c),e)			○	○	○		
05教育	専門教育科目	教育研究法	JSE-444-1	卒業論文執筆に向けて課題設定および研究方法を考案する力を習得する。b),d)			○	○	○		
05教育	専門教育科目	教育学卒業論文	JSE-445-1	卒業論文執筆計画の立案、文献調査・現地調査、中間発表会及び最終発表会での発表を通じて、研究遂行能力の向上を図る。b),d)			○	○	○		
05教育	専門教育科目 （学部共通科目）	国際教育論Ⅰ	JCX-214-1	国際的視野から教育専門職員に求められる学習支援の知識・スキルを習得し、生活課題・地域課題を把握する方法、学習を組織する技能の習得する。a),d)		○	○				○
05教育	専門教育科目 （学部共通科目）	国際教育論ⅠⅠ	JCX-215-1	具体的な学習支援のあり方を海外の方法とも比較しながら分析し、学習支援の方法の具体的スキルを習得する。a),e)				○	○		○

人文社会学部　人間社会学科　言語科学教室

提供分野	a.科目群 （専門教育科目群）	b授集科目名	c.ナンバリングコード	獲得すべき学修成果（各授業で育成し達成状況を評価する学修成果 d.+ e.）							
				d.知識・理解及び技術	e普遍的に有用性を持つ能力						
					コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、社会的責任の自覚	異なる文化・社会への理解
				下記のような知識・理解及び技術を修得することが出来ます。 a) 言語に関する科学的な基礎知識・理解を身につける。 b) 言語データに対する考察、規則を発見する能力を身につける。 c) 数量データに対する考察、分析方法を身につける。 d) 脳科学に関する基礎知識・理解を身につける。 e) 言語科学の専門知識を言語と人間の問題に応用する能力と見識を養う。	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えることができる。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。
06言語	専門教育科目	音韻論基礎	JSF-201-1	a), b)	○	○	○				
06言語	専門教育科目	統語論基礎	JSF-202-1	a), b), e)		○	○	○			
06言語	専門教育科目	言語脳科学	JSF-203-1	a), d)		○	○	○			
06言語	専門教育科目	認知神経科学	JSF-204-1	a), c), d)		○	○	○			
06言語	専門教育科目	言語科学概論	JSF-205-1	a), b), e)			○	○	○		
06言語	専門教育科目	心理言語学	JSF-206-1	a)			○	○			
06言語	専門教育科目	音韻論 I	JSF-308-1	a), b)	○	○	○				
06言語	専門教育科目	音韻論 II	JSF-309-1	a), b)	○	○	○				
06言語	専門教育科目	統語論	JSF-310-1	a), b), e)			○	○	○		
06言語	専門教育科目	生成言語理論	JSF-311-1	a), b), e)			○	○	○		
06言語	専門教育科目	脳計測科学	JSF-216-1	b), c)		○	○	○			
06言語	専門教育科目	発達科学	JSF-317-1	c), d), e)			○	○	○		
06言語	専門教育科目	精神神経科学	JSF-318-1			○	○	○			
06言語	専門教育科目	意味論・語用論	JSF-320-1	a), b)			○	○	○		
06言語	専門教育科目	形態論	JSF-221-1	a), b)	○		○	○			
06言語	専門教育科目	言語獲得論	JSF-222-1	a), b)		○		○	○		
06言語	専門教育科目	言語情報処理の統計学	JSF-223-1	c)		○			○	○	
06言語	専門教育科目	言語科学特殊講義	JSF-224-1	a), b), c), d)			○	○	○		
06言語	専門教育科目	言語科学卒業論文	JSF-425-1	a), b), c), d), e)			○	○	○		

人文社会学部　人間社会学科　日本語教育学教室

提供分野	a.科目群 （専門教育科目群）	b授業科目名	c.ナンバリングコード	獲得すべき学修成果（各授業で育成し達成状況を評価する学修成果 d.+ e.）							
				d.知識・理解及び技術	e普遍的に有用性を持つ能力						
					コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、社会的責任の自覚	異なる文化・社会への理解
				a)日本語を中心とした言語学的な知識を習得する。 b)日本語・日本文化を他言語・他地域との対照において深く理解し、グローバル社会の中で伝達していく言語能力を身につける。 c)グローバル社会の現実の中で言語教育を理解し、対応・行動する能力を獲得する。 d)社会と言語の関わりや異文化コミュニケーションの基礎を習得する。 e)言語教育に関連した教育工学の基礎を習得する。	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えることができる。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。
07日教	専門教育科目	日本語表現法I	JSG-301-1	a)、c)		○	○		○		
07日教	専門教育科目	日本語表現法II	JSG-302-1	a)、b)、c)	○				○		
07日教	専門教育科目	日本言語学概論	JSG-203-1	a)、b)、c)	○		○				
07日教	専門教育科目	日本言語学講義	JSG-204-1	a)、b)、c)			○	○	○		
07日教	専門教育科目	日本言語学演習	JSG-305-1	a)、b)、c)			○	○	○		
07日教	専門教育科目	日本語教育実習	JSG-406-1	b)、c)、d)			○				○
07日教	専門教育科目	日本語学概論	JSG-207-1	a)、b)、c)			○	○	○		
07日教	専門教育科目	日本語習得論概論	JSG-208-1	b)、c)、d)			○	○	○		
07日教	専門教育科目	日本語習得論講義	JSG-209-1	b)、c)、d)						○	○
07日教	専門教育科目	日本語習得論演習	JSG-310-1	b)、c)、d)					○		○
07日教	専門教育科目	日本語教育学概論	JSG-211-1	b)、c)、d)	○			○			○
07日教	専門教育科目	日本語教育学講義	JSG-212-1	b)、c)、d)	○			○			○
07日教	専門教育科目	日本語教育学演習	JSG-313-1	b)、e)	○			○			○
07日教	専門教育科目	日本社会言語学概論	JSG-214-1	a)、d)			○	○			
07日教	専門教育科目	日本社会言語学講義	JSG-315-1	b)、c)、d)		○			○		○
07日教	専門教育科目	日本社会言語学演習	JSG-316-1					○	○		○
07日教	専門教育科目	言語習得論演習	JSG-317-1	b)、e)		○	○		○		
07日教	専門教育科目	比較言語文化論	JSG-218-1	b)、c)、d)	○	○					○
07日教	専門教育科目	学外演習	JSG-319-1	c)					○		
07日教	専門教育科目	論文指導	JSG-420-1	a)、b)、c)			○	○	○		
07日教	専門教育科目	日本語教育学卒業論文指導	JSG-321-1	a)、b)、c)			○	○	○		
07日教	専門教育科目	日本語教育学卒業論文	JSG-422-1	a)、b)、c)			○	○	○		

【専門科目】人文社会学部人文学科　カリキュラム・マップ／カリキュラム・ツリー

教室	基礎	専門	卒業研究（卒業論文は必修）
哲学教室	古代中世哲学Ⅰ・Ⅱ、近世哲学Ⅰ・Ⅱ 哲学基礎演習（英米）Ⅰ・Ⅱ、哲学基礎演習（独・仏）Ⅰ・Ⅱ 西洋古典学概論Ⅰ・Ⅱ、ギリシャ語Ⅱ、ラテン語Ⅱ　など	哲学史演習、哲学演習、倫理学演習 哲学特殊講義、倫理学特殊講義 西洋古典学演習　など	卒業論文 哲学討論
歴史学・考古学教室	歴史学／考古学概論 歴史学／考古学方法論 古文書学、日本文化史、日本／外国史概論　など	日本史／東洋史／西洋史／考古学演習 特殊講義、実習、歴史調査法　など	卒業論文 卒業論文指導
表象文化論教室	表象文化論入門、表象文化論基礎理論 外国語文献講読	表象文化史A・B、空間表象論 芸術表象論、文化表象論、表象文化論演習 表象文化論特殊講義	卒業論文 卒業研究
日本文化論教室	日本言語文化概論Ⅰ・Ⅱ 日本古典 日本文学講義Ⅰ・Ⅱ　など	日本文学史、日本文学演習Ⅰ・Ⅱ 日本文化特殊講義 日本語学演習　など	卒業論文
中国文化論教室	中国言語文化概論、漢文学 中国古典Ⅰ・Ⅱ、中国語概説Ⅰ・Ⅱ 中国文学概論Ⅰ・Ⅱ、中国語会話Ⅰ・Ⅱ	中国文学史、中国思想史Ⅰ・Ⅱ 中国語法、中国語史 中国文化演習　など	卒業論文
英語圏文化論教室	上級英語、英語圏文学史、英語圏文化論A・B 英語学概論、英作文Ⅰ、英会話Ⅰ 英語圏文化史A・B	英作文Ⅱ、英語表現論、英会話Ⅱ、英語史 英語圏文化論A・B、英語圏文学論A・B 英語圏文化演習、英語圏文学演習　など	卒業論文
ドイツ語圏文化論教室	ドイツ語学概論、ドイツ語史 ドイツ語作文Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語会話Ⅰ・Ⅱ ドイツ語圏文化史	ドイツ語圏文学演習、ドイツ語圏文学論 ドイツ語圏文化論、ドイツ語圏文化演習 ドイツ語学特殊講義、上級ドイツ語　など	卒業論文
フランス語圏文化論教室	フランス語会話Ⅰ、フランス語作文Ⅰ フランス語圏文化史、フランス語圏文化論 フランス語圏文学史、フランス語学論　など	フランス語会話Ⅱ、フランス語作文Ⅱ フランス語圏文化演習 フランス語圏文学論、フランス語圏文学演習　など	卒業論文

専門分野に必要となる基礎的な科目　　専門分野に対応した発展的な科目　　卒業論文研究のための科目

学生が習得すべき能力	人間社会学に関する各分野固有の知識を修得し、それらを問題解決に活用できる能力	現代社会に対する批判的思考力、及び異なる文化・社会に対する理解力	論理的に試行し、倫理観・社会的責任を自覚しながらコミュニケーションすることのできる能力

人文社会学部　人文学科　哲学教室

提供分野	a.科目群 （専門教育科目群）	b授業科目名	c.ナンバリングコード	獲得すべき学修成果（各授業で育成し達成状況を評価する学修成果 d.+ e.）							
				d.知識・理解及び技術	e普遍的に有用性を持つ能力						
					コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、社会的責任の自覚	異なる文化・社会への理解
				a) 古代から中世、近世から近現代に至る哲学史的な知識や、古代ギリシア・ラテン文学史や古典文献学など西洋古典学の基本的な知識を身につける。 b) 古代ギリシア語からラテン語、ドイツ語、フランス語、英語などで書かれた哲学者や著作家の原典テキストを正確に読解できる言語能力を修得する。 c) 原典が提示している議論や叙述内容を正確に把握し、論理的な一貫性と整合性をもった日本語の文章に再現できる能力を養う。 d) 哲学領域においては、原典における個別の議論を哲学的な諸問題に関する哲学史的知見と連動させて検討・考察する力を養う。 e) 西洋古典学領域においては、作品の読解を通してそこに語られた内容とその表現を精緻に観察・把握し、その文学的伝統をも含めた文献学的理解力を養う。 f) 上記の哲学的考察や文献学的理解を元に、自らの思索と解釈を加えた自分なりの議論を組み立て、論理的で説得力ある論文を作成する能力を身につける。 g） 原典講読と内容把握、観察と考察、自立的思索と論述といった一連の学修と研究を通じて、専門的知識を修得するとともに言葉に対する鋭敏さを涵養し思考力を高める。	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えることができる。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。
08哲学	専門教育科目	古代中世哲学 I	JHA-201-1	a)			○		○		○
08哲学	専門教育科目	古代中世哲学 II	JHA-202-1	a)			○		○		○
08哲学	専門教育科目	近世哲学 I	JHA-203-1	a)				○	○		○
08哲学	専門教育科目	近世哲学 II	JHA-204-1	a)			○	○			○
08哲学	専門教育科目	哲学基礎演習（英米） I	JHA-205-1	b)	○			○	○		
08哲学	専門教育科目	哲学基礎演習（英米） II	JHA-206-1	b)	○			○	○		
08哲学	専門教育科目	哲学基礎演習（独） I	JHA-207-1	b), c), g)	○			○			○
08哲学	専門教育科目	哲学基礎演習（独） II	JHA-208-1	b), c), g)	○			○			○
08哲学	専門教育科目	哲学基礎演習（仏） I	JHA-209-1	a),b)				○	○		○
08哲学	専門教育科目	哲学基礎演習（仏） II	JHA-210-1	a),b)				○	○		○
08哲学	専門教育科目	哲学史演習（古代中世）	JHA-311-1	b), c), g)	○			○			○
08哲学	専門教育科目	哲学史演習（英米）	JHA-312-1	a), b), d)	○			○	○		
08哲学	専門教育科目	哲学史演習（ドイツ）	JHA-313-1	b), c), g)	○			○			○
08哲学	専門教育科目	哲学史演習（フランス）	JHA-314-1	b), c), g)				○	○		○
08哲学	専門教育科目	倫理学史演習	JHA-317-1	b), c), g)	○					○	○
08哲学	専門教育科目	倫理学演習	JHA-318-1	b), c), g)				○	○		○
08哲学	専門教育科目	哲学史特殊講義（古代・中世）	JHA-319-1	b), c), g)	○			○			○
08哲学	専門教育科目	哲学史特殊講義（英米）	JHA-320-1	b), d), g)			○	○	○		
08哲学	専門教育科目	哲学史特殊講義（ドイツ）	JHA-321-1	b), c), g)	○			○			○
08哲学	専門教育科目	哲学史特殊講義（フランス）	JHA-322-1	b), c), g)				○	○		○
08哲学	専門教育科目	哲学特殊講義	JHA-325-1	b), c), d)	○				○		○
08哲学	専門教育科目	倫理学特殊講義	JHA-326-1	b), c), d)	○					○	○
08哲学	専門教育科目	美学	JHA-327-1	b), c), d)	○			○			○
08哲学	専門教育科目	日本倫理思想史	JHA-328-1	d), g)			○			○	○
08哲学	専門教育科目	哲学討論	JHA-329-1	d), f), g)	○		○	○			
08哲学	専門教育科目	哲学演習（分析哲学）	JHA-330-1	b), d), f)	○			○	○		
08哲学	専門教育科目	哲学特殊講義（分析哲学）	JHA-331-1	a), c), d)			○	○	○		
08哲学	専門教育科目	西洋古典学概説 I	JHA-231-1	a)							○
08哲学	専門教育科目	西洋古典学概説 II	JHA-232-1	a)							○
08哲学	専門教育科目	ギリシャ語 II	JHA-233-1	b), c)							○
08哲学	専門教育科目	ラテン語 II	JHA-234-1	b), c)							○
08哲学	専門教育科目	西洋古典学演習（ギリシャ文学）	JHA-335-1	b), e), g)							○
08哲学	専門教育科目	西洋古典学演習（ラテン文学）	JHA-336-1	b), e), g)							○
08哲学	専門教育科目	哲学卒業論文	JHA-430-1	c), d)またはe), f) 【「哲学卒業論文」は西洋古典も含みます】			○	○	○		

人文社会学部　人文学科　歴史学・考古学教室

提供分野	a.科目群 （専門教育科目群）	b授集科目名	c.ナンバリング コード	獲得すべき学修成果（各授業で育成し達成状況を評価する学修成果 d.+ e.）							
				d.知識・理解及び技術	e普遍的に有用性を持つ能力						
				a) 歴史学と考古学に関する基本的知識を体系的に修得する。 b) 歴史学及び考古学について、それぞれに固有の方法論を修得する。 c) 歴史学における史料と、考古学における発掘調査の方法や物質資料の基本的な取り扱い方を修得する。 d) 上記 a) において与えられた総合的な知識を基に、歴史学の各分野に関する深い知識を修得する。 e) 歴史学と考古学の各専門領域における様々な論点についてさらに深い知識を修得する。 f) 歴史学と考古学の専門書や具体的な研究を取りあげて深く議論し、自らも発信できる能力を修得する。 g) 修得した総合的・専門的知識と問題解決能力を応用する。	コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、 社会的責任の自覚	異なる文化・ 社会への理解
					自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えることができる。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。
09歴考	専門教育科目	歴史学概論	JHB-201-1	a)、b)			○	○		○	○
09歴考	専門教育科目	歴史学方法論	JHB-202-1	b)	○			○	○		
09歴考	専門教育科目	考古学概論	JHB-203-1	a)			○	○	○		
09歴考	専門教育科目	考古学方法論	JHB-204-1	a)、b)		○		○	○		
09歴考	専門教育科目	古文書学	JHB-205-1	ｂ・ｃ		○	○		○		
09歴考	専門教育科目	日本文化史	JHB-206-1	a)、e)			○	○			○
09歴考	専門教育科目	日本史概説	JHB-207-1	d)			○	○			
09歴考	専門教育科目	外国史概説（東洋史）	JHB-208-1	a)、d)			○	○			○
09歴考	専門教育科目	外国史概説（西洋史）	JHB-209-1	a)			○	○			○
09歴考	専門教育科目	歴史調査法	JHB-210-1	c)e)			○	○	○	○	
09歴考	専門教育科目	日本史学特殊講義Ⅰ	JHB-211-1	e)			○	○			
09歴考	専門教育科目	日本史学特殊講義Ⅱ	JHB-212-1	f)、g)			○	○			○
09歴考	専門教育科目	日本史学特殊講義Ⅲ	JHB-213-1	d)、e)			○		○		○
09歴考	専門教育科目	日本史学特殊講義Ⅳ	JHB-214-1	e)			○	○			
09歴考	専門教育科目	東洋史学特殊講義Ⅰ	JHB-215-1	e)、f)			○	○			○
09歴考	専門教育科目	東洋史学特殊講義Ⅱ	JHB-216-1				○	○			○
09歴考	専門教育科目	東洋史学特殊講義Ⅲ	JHB-217-1	e)、f)			○	○			○
09歴考	専門教育科目	西洋史学特殊講義Ⅰ	JHB-218-1	d)			○	○			○
09歴考	専門教育科目	西洋史学特殊講義Ⅱ	JHB-219-1	d)			○	○			○
09歴考	専門教育科目	考古学特殊講義Ⅰ	JHB-220-1	d)、e)				○	○		○
09歴考	専門教育科目	考古学特殊講義Ⅱ	JHB-221-1	d)、e)				○	○		○
09歴考	専門教育科目	日本史学演習Ⅰ	JHB-222-1	f)	○		○	○	○		
09歴考	専門教育科目	日本史学演習Ⅱ	JHB-223-1	f)、g)			○	○			○
09歴考	専門教育科目	日本史学演習Ⅲ	JHB-224-1	c)、f)			○	○	○		
09歴考	専門教育科目	日本史学演習Ⅳ	JHB-225-1	f)	○		○	○	○		
09歴考	専門教育科目	東洋史学演習Ⅰ	JHB-226-1	e)、f)、g)			○	○	○		
09歴考	専門教育科目	東洋史学演習Ⅱ	JHB-227-1	e)、f)、g)			○	○	○		○
09歴考	専門教育科目	東洋史学演習Ⅲ	JHB-228-1	d、f、g		○	○		○		
09歴考	専門教育科目	西洋史学演習Ⅰ	JHB-229-1	f)	○			○	○		
09歴考	専門教育科目	西洋史学演習Ⅱ	JHB-230-1	f)	○			○	○		
09歴考	専門教育科目	考古学演習Ⅰ	JHB-231-1	f)	○	○			○		
09歴考	専門教育科目	考古学演習Ⅱ	JHB-232-1	f)	○	○			○		
09歴考	専門教育科目	考古学実習Ⅰ	JHB-233-1	c)		○			○		○
09歴考	専門教育科目	考古学実習Ⅱ	JHB-234-1	c)		○			○		○
09歴考	専門教育科目	卒業論文指導（歴史学・考古学）	JHB-435-1	e)、f)			○	○	○		
09歴考	専門教育科目	歴史学･考古学卒業論文	JHB-436-1	e)、f)			○	○	○		

人文社会学部　人文学科　歴史学・考古学教室

提供分野	a.科目群 （専門教育科目群）	b授集科目名	c.ナンバリング コード	獲得すべき学修成果（各授業で育成し達成状況を評価する学修成果 d.+ e.）							
				d.知識・理解及び技術	e普遍的に有用性を持つ能力						
				a) 歴史学と考古学に関する基本的知識を体系的に修得する。 b) 歴史学及び考古学について、それぞれに固有の方法論を修得する。 c) 歴史学における史料と、考古学における発掘調査の方法や物質資料の基本的な取り扱い方を修得する。 d) 上記 a) において与えられた総合的な知識を基に、歴史学の各分野に関する深い知識を修得する。 e) 歴史学と考古学の各専門領域における様々な論点についてさらに深い知識を修得する。 f) 歴史学と考古学の専門書や具体的な研究を取りあげて深く議論し、自らも発信できる能力を修得する。 g) 修得した総合的・専門的知識と問題解決能力を応用する。	コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、 社会的責任の自覚	異なる文化・ 社会への理解
					自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えることができる。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。
09歴考	専門教育科目 （学部共通科目）	博物館概論Ａ	JCX-204-1	g)					○	○	
09歴考	専門教育科目 （学部共通科目）	博物館資料論	JCX-205-1	g)					○	○	
09歴考	専門教育科目 （学部共通科目）	博物館経営論	JCX-206-1	g)			○		○	○	
09歴考	専門教育科目 （学部共通科目）	博物館教育論	JCX-207-1	g)	○				○	○	
09歴考	専門教育科目 （学部共通科目）	博物館情報・メディア論	JCX-208-1	g)		○			○	○	

人文社会学部　人文学科　表象文化論教室

提供分野	a.科目群 （専門教育科目群）	b授集科目名	c.ナンバリング コード	獲得すべき学修成果（各授業で育成し達成状況を評価する学修成果 d.+ e.）							
				d.知識・理解及び技術	e普遍的に有用性を持つ能力						
					コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、 社会的責任の自覚	異なる文化・ 社会への理解
				ａ）芸術表象領域 芸術とそのさまざまなかたちにかんする知識・理解を深める。 ｂ）文化表象領域 文化とそのさまざまなかたちにかんする知識・理解を深める。 ｃ）文化史領域 歴史的観点から文化の諸相の理解を深める。 ｄ）外国語領域 異文化理解や言語分析に不可欠の外国語を修得する。 ｅ）総合 修得した専門的知識と問題解決能力を応用する。	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えることができる。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。
10表象	専門教育科目	表象文化論入門	JHC-201-1	a) b) e)	○	○	○				
10表象	専門教育科目	表象文化論基礎理論	JHC-202-1	a) b)			○	○			○
10表象	専門教育科目	外国語文献講読	JHC-203-1	d)	○				○		○
10表象	専門教育科目	空間表象論	JHC-204-1	a) b)			○	○			○
10表象	専門教育科目	表象文化史Ａ	JHC-205-1	c)			○	○			○
10表象	専門教育科目	表象文化史Ｂ	JHC-206-1	c)			○	○			○
10表象	専門教育科目	表象文化論演習	JHC-207-1	a) b) e)	○		○		○		
10表象	専門教育科目	芸術表象論	JHC-208-1	a) e)			○	○			○
10表象	専門教育科目	文化表象論	JHC-209-1	b) e)			○	○			○
10表象	専門教育科目	表象文化論特殊講義	JHC-210-1	a) b) c)			○	○			○
10表象	専門教育科目	卒業論文	JHC-411-1	a) b) c) e)			○	○	○		
10表象	専門教育科目	卒業研究	JHC-412-1	a) b) c) e)			○	○	○		

人文社会学部　人文学科　日本文化論教室

提供分野	a.科目群 （専門教育科目群）	b授業科目名	c.ナンバリングコード	獲得すべき学修成果（各授業で育成し達成状況を評価する学修成果 d.+ e.）							
				d.知識・理解及び技術	e普遍的に有用性を持つ能力						
					コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、 社会的責任の自覚	異なる文化・ 社会への理解
				下記のような知識・理解及び技術を修得することが出来ます。 a) 正確に文章を読む力をつける。 b) 自分なりの見解をわかりやすく伝える能力を身につける。 c) 各時代の日本文学と日本語についての専門知識を、基礎的事項から最新の知見まで幅広く修得する。 d) 日本文学と日本語の、多角的な研究方法を修得する。 e) 日本文学・日本語を切り口として、日本文化の独自性を学ぶ。	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えることができる。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。
11日文	専門教育科目	日本言語文化概論Ⅰ	JHD-201-1	a) 、c)、e)			○	○			○
11日文	専門教育科目	日本言語文化概論Ⅱ	JHD-202-1	a) 、c)、d)			○			○	○
11日文	専門教育科目	言語表現法Ⅰ	JHD-203-1	a)、b)	○	○		○			
11日文	専門教育科目	言語表現法Ⅱ	JHD-204-1	a)、b)	○	○		○			
11日文	専門教育科目	日本語学講義	JHD-205-1	d)、e)			○	○	○		
11日文	専門教育科目	日本語学演習Ⅰ	JHD-206-1	b)、c)、d)			○		○		
11日文	専門教育科目	日本語学演習Ⅱ	JHD-207-1	b)、c)、d)	○	○			○		
11日文	専門教育科目	日本語学特殊講義	JHD-208-1	c)、e)			○	○			○
11日文	専門教育科目	日本古典	JHD-209-1	a) 、c)			○	○			○
11日文	専門教育科目	日本文学講義Ⅰ	JHD-210-1	a) 、c)、e)			○	○		○	
11日文	専門教育科目	日本文学講義Ⅱ	JHD-211-1	a) 、c)、e)			○	○			○
11日文	専門教育科目	日本文学史	JHD-212-1	c)、e)			○			○	○
11日文	専門教育科目	日本文学演習Ⅰ	JHD-213-1	a)、b) 、c)	○	○			○		
11日文	専門教育科目	日本文学演習Ⅱ	JHD-214-1	b)、c)、d)	○			○	○		
11日文	専門教育科目	日本文化特殊講義	JHD-215-1	b)、c)、e)			○	○			○
11日文	専門教育科目	卒業論文指導	JHD-416-1		○	○			○		
11日文	専門教育科目	日本文化論卒業論文	JHD-417-1	b)、c)、d)			○	○	○		
11日文	専門教育科目 （学部共通科目）	書道	JCX-202-1	d)、e)	○		○				○

人文社会学部　人文学科　中国文化論教室

提供分野	a.科目群 （専門教育科目群）	b授集科目名	c.ナンバリング コード	獲得すべき学修成果（各授業で育成し達成状況を評価する学修成果 d.+ e.）						
				d.知識・理解及び技術	e普遍的に有用性を持つ能力					
					コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、 社会的責任の自覚	異なる文化・ 社会への理解
				下記のような知識・理解及び技術を修得することが出来る。 a) 現代中国語の文法を理解し、読み、書き、話す能力を身につける。 b) 文言文（書き言葉）や各時代の古典文を読み、正しく理解する能力を身につける。 c) 各時代の中国文学、各地方の中国文化に関する基礎的知識を広く修得する。 d) テキストを読む際の工具書（各種辞典類）を正しく使用し、それを元に自ら注釈を施す能力を身につける。 e) 演習形式の授業を通し、自身の意見や見解を正しく伝え、適切な資料を元に説得する能力を習得する。 f) 各ジャンルの研究史を概観し、現在の研究状況を理解する。 g) 卒業論文作成を通じて、資料収集、思考の整理、論文作成の方法を習得する。	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えることができる。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。
12中文	専門教育科目	中国古典Ⅰ	JHE-201-1	b)、c)、f)		○			○		○
12中文	専門教育科目	中国古典Ⅱ	JHE-202-1	b)、c)、f)			○	○			○
12中文	専門教育科目	中国語学概説Ⅰ	JHE-203-1	a)、d)、f)		○			○		○
12中文	専門教育科目	中国語学概説Ⅱ	JHE-204-1	b)、d)、f)			○	○			○
12中文	専門教育科目	中国文学概説Ⅰ	JHE-205-1	b)、c)、f)		○			○		○
12中文	専門教育科目	中国文学概説Ⅱ	JHE-206-1	b)、c)、f)			○	○			○
12中文	専門教育科目	中国語法	JHE-307-1	a)、d)、f)		○		○			○
12中文	専門教育科目	中国語史	JHE-308-1	a)、e)、f)		○		○			○
12中文	専門教育科目	中国文学史	JHE-309-1	b)、c)、f)		○	○				○
12中文	専門教育科目	中国思想史Ⅰ	JHE-310-1	c)、d)、f)			○			○	○
12中文	専門教育科目	中国思想史Ⅱ	JHE-311-1	c)、d)、f)			○			○	○
12中文	専門教育科目	中国語作文Ⅰ	JHE-212-1	a)、c)	○						○
12中文	専門教育科目	中国語作文Ⅱ	JHE-313-1	a)、c)	○						○
12中文	専門教育科目	中国語会話Ⅰ	JHE-314-1	a)、c)	○						○
12中文	専門教育科目	中国語会話Ⅱ	JHE-315-1	a)、c)	○						○
12中文	専門教育科目	上級中国語	JHE-216-1		○		○				○
12中文	専門教育科目	インテンシブ中国語	JHE-217-1	a)、c)	○		○				○
12中文	専門教育科目	中国文化論	JHE-318-1	c)、f)		○			○		○
12中文	専門教育科目	東アジア文化論	JHE-319-1	c)、e)		○			○		○
12中文	専門教育科目	東アジア言語文化論	JHE-220-1	a)、c)、d)		○			○		○
12中文	専門教育科目	中国言語文化概論	JHE-221-1	a)、b)、c)		○			○		○
12中文	専門教育科目	中国文化特殊講義	JHE-222-1	c)、f)		○			○		○
12中文	専門教育科目	中国文化演習	JHE-223-1	a)、b)、d)、e)		○		○	○		
12中文	専門教育科目	漢文学	JHE-224-1	b)、d)、e)		○			○		○
12中文	専門教育科目	卒業論文指導	JHE-425-1	c)、d)、e)、f)、g)			○	○		○	
12中文	専門教育科目	中国文化論卒業論文	JHE-426-1	a)、b)、c)、d)、f)、g)			○	○		○	

人文社会学部　人文学科　英語圏文化論教室

提供分野	a.科目群 （専門教育科目群）	b授集科目名	c.ナンバリングコード	獲得すべき学修成果（各授業で育成し達成状況を評価する学修成果 d.+ e.）							
				d.知識・理解及び技術	e普遍的に有用性を持つ能力						
					コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、 社会的責任の自覚	異なる文化・ 社会への理解
				下記のような知識・理解及び技術を修得することが出来ます。 a) 英米文学の作品を正確に理解する言語能力を修得する。 b) 作品内に隠された多様な意味を読み解く知識と能力を修得する。 c) a), b) により得た知見や考えを、日本語および英語で表現したり論じたりする力を獲得する。 d) 文学作品の背景にある歴史や思想を理解し、これを批判的に解釈・検証する能力を獲得する。 e) 文学作品を通じて他者の内面や経験を可動的に受け止め、人間への理解を深める。 f）英語で発信される様々な情報を多様なメディアを通して取得し、自らも発信できる能力を修得する。 g）英語圏文化の背景にある様々な知識を系統立てて修得する。	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えることができる。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。
13英文	専門教育科目	英語圏文学史Ⅰ	JHF-201-1	g)			○	○			○
13英文	専門教育科目	英語圏文学史Ⅱ	JHF-202-1	g)			○	○			○
13英文	専門教育科目	英語学概論	JHF-203-1	a) および g)			○	○			○
13英文	専門教育科目	英語圏文化論Ａ	JHF-204-1	d) および g)				○	○		○
13英文	専門教育科目	英語圏文化論Ｂ	JHF-205-1	d) および g)				○	○		○
13英文	専門教育科目	英語圏文化史Ａ	JHF-206-1	d) および g)			○	○			○
13英文	専門教育科目	英語圏文化史Ｂ	JHF-207-1	d) および g)			○	○			○
13英文	専門教育科目	英語圏文学論Ａ	JHF-208-1	c) および e)				○	○		○
13英文	専門教育科目	英語圏文学論Ｂ	JHF-209-1	d) および g)				○	○		○
13英文	専門教育科目	英語史	JHF-310-1	a) および g)		○	○				○
13英文	専門教育科目	英語圏文化演習	JHF-311-1	d) および g)	○			○	○		
13英文	専門教育科目	英語圏文学演習	JHF-312-1	b) および e)	○			○	○		
13英文	専門教育科目	英語表現論	JHF-313-2	c) および e)		○	○	○			
13英文	専門教育科目	英語コミュニケーション論	JHF-214-2	c) および f)		○	○		○		
13英文	専門教育科目	英会話Ⅰ	JHF-215-2	c) および f)		○	○	○			
13英文	専門教育科目	英会話Ⅱ	JHF-316-2		○				○		
13英文	専門教育科目	英作文Ⅰ	JHF-217-2	c) および f)		○	○				
13英文	専門教育科目	英作文Ⅱ	JHF-318-2	c) および f)	○				○		○
13英文	専門教育科目	上級英語	JHF-219-3	a)			○	○	○		
13英文	専門教育科目	卒業論文	JHF-420-1	c) および e)		○	○	○			
13英文	専門教育科目 （学部共通科目）	比較文学史	JCX-201-1	d) および g)			○	○			○

人文社会学部　人文学科　ドイツ語圏文化論教室

提供分野	a.科目群 （専門教育科目群）	b授集科目名	c.ナンバリング コード	獲得すべき学修成果（各授業で育成し達成状況を評価する学修成果 d.+ e.）						
				d.知識・理解及び技術	e普遍的に有用性を持つ能力					
					コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、 社会的責任の自覚	異なる文化・ 社会への理解
				a) ドイツ語圏の文化についての興味を深め、その広い領域における知識を修得する。 b) ドイツ語のテキストを正確に読解できる言語能力を養う。 c) 文学作品の読解を通じて、人間の心理や社会とのつながりを洞察し、それを論評できる感受性と論理能力を養う。 d) ドイツ語についての語学的な知識や歴史的な知識を修得する。 e) ドイツ語で自らの意見や感情を表現できる筆記能力を養う。 f) ドイツ語でコミュニケーションできる会話能力を養う。	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えることができる。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。
14独文	専門教育科目	ドイツ語圏文化史	JHG-201-5	a)			○			○	○
14独文	専門教育科目	ドイツ語圏文化論	JHG-202-5	a)				○		○	○
14独文	専門教育科目	ドイツ語圏文化演習	JHG-203-1	a)					○	○	○
14独文	専門教育科目	ドイツ語圏文学論	JHG-304-1	c)				○		○	○
14独文	専門教育科目	ドイツ語圏文学演習	JHG-205-1	c)					○	○	○
14独文	専門教育科目	ドイツ語史	JHG-206-1	d)			○			○	○
14独文	専門教育科目	ドイツ語学特殊講義	JHG-207-1	d)		○	○			○	
14独文	専門教育科目	ドイツ語学概論	JHG-208-1	d)		○	○			○	
14独文	専門教育科目	ドイツ語学演習	JHG-209-1	d)					○	○	○
14独文	専門教育科目	ドイツ語作文Ⅰ	JHG-210-5	e)	○	○				○	
14独文	専門教育科目	ドイツ語作文Ⅱ	JHG-211-5	e)	○	○				○	
14独文	専門教育科目	ドイツ語会話Ⅰ	JHG-212-4	f)	○	○				○	
14独文	専門教育科目	ドイツ語会話Ⅱ	JHG-313-4	f)	○	○				○	
14独文	専門教育科目	上級ドイツ語	JHG-314-5	e)およびf)						○	
14独文	専門教育科目	卒業論文	JHG-415-1	a), b), c), d)			○	○	○		

人文社会学部　人文学科　フランス語圏文化論教室

提供分野	a.科目群（専門教育科目群）	b授集科目名	c.ナンバリングコード	獲得すべき学修成果（各授業で育成し達成状況を評価する学修成果 d.+ e.）							
				d.知識・理解及び技術	e普遍的に有用性を持つ能力						
					コミュニケーション能力	情報活用能力	総合的問題思考力	論理的思考力	能動的学修姿勢	倫理観、社会的責任の自覚	異なる文化・社会への理解
				下記のような知識・理解及び技術を修得することが出来ます。 a) フランス語圏の文化についての興味を深め、その広い領域における知識を修得する。 b) フランス語についての語学的な知識や歴史的な知識を修得する。 c) フランス語でコミュニケーションできる会話能力を養う。 d) フランス語のテキストを正確に読解できる言語能力を修得する。 e) フランス語で自らの意見や感情を表現できる筆記能力を養う。 f) 文学作品の読解を通じて、人間の心理や社会とのつながりを洞察し、それを論評できる感受性と論理能力を養う。	自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えることができる。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。
15仏文	専門教育科目	フランス語圏文学史	JHH-201-1	a, d, f		○				○	○
15仏文	専門教育科目	フランス語圏文学論	JHH-202-1	a, d, f				○		○	○
15仏文	専門教育科目	フランス語圏文学演習	JHH-303-1	a, d, e, f	○					○	○
15仏文	専門教育科目	フランス語圏文化史	JHH-204-1	a, f		○				○	○
15仏文	専門教育科目	フランス語圏文化演習	JHH-306-5	a, e, f	○					○	○
15仏文	専門教育科目	フランス語圏文化論	JHH-205-1	a, f				○		○	○
15仏文	専門教育科目	フランス語史	JHH-207-1	b		○		○			○
15仏文	専門教育科目	フランス語学論	JHH-208-1	b		○		○			○
15仏文	専門教育科目	フランス語学演習	JHH-209-1	b, e	○			○			○
15仏文	専門教育科目	フランス語作文Ⅰ	JHH-210-1	c, e	○			○	○		
15仏文	専門教育科目	フランス語会話Ⅰ	JHH-211-1	c, e	○				○		○
15仏文	専門教育科目	フランス語作文Ⅱ	JHH-312-1	c, e			○	○	○		
15仏文	専門教育科目	フランス語会話Ⅱ	JHH-313-4	c, e	○				○		○
15仏文	専門教育科目	上級フランス語	JHH-314-5	a, c, d, e	○				○		○
15仏文	専門教育科目	卒業論文	JHH-415-1	a		○	○		○		